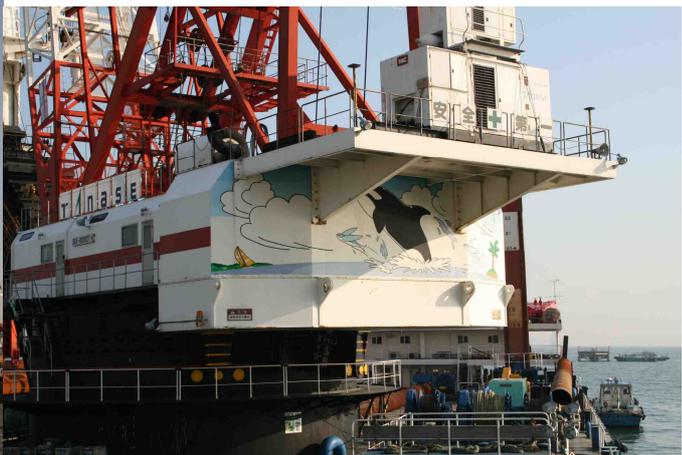
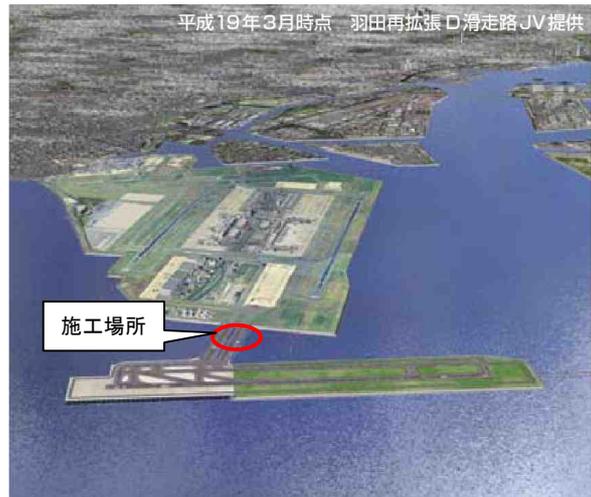
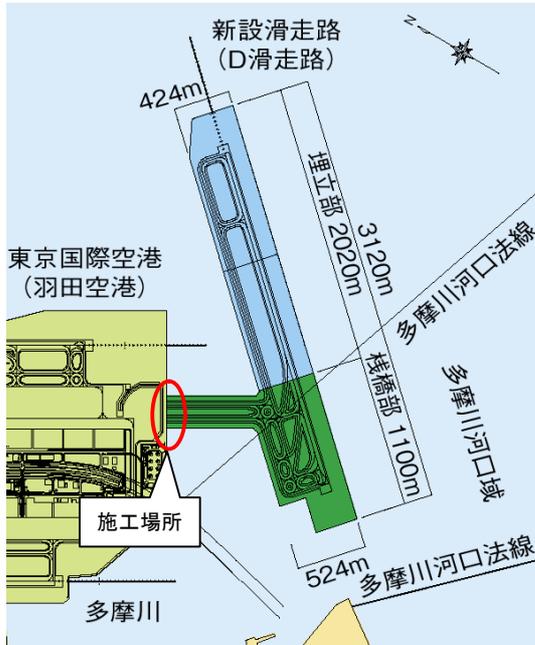


平成19年12月7日 現場日記

D滑走路の連絡誘導路工区では、現空港との接続部に設ける橋台の工事が始まっておりま
す。今回の現場日記では、その基礎となる鋼管杭の打設状況をご紹介します。

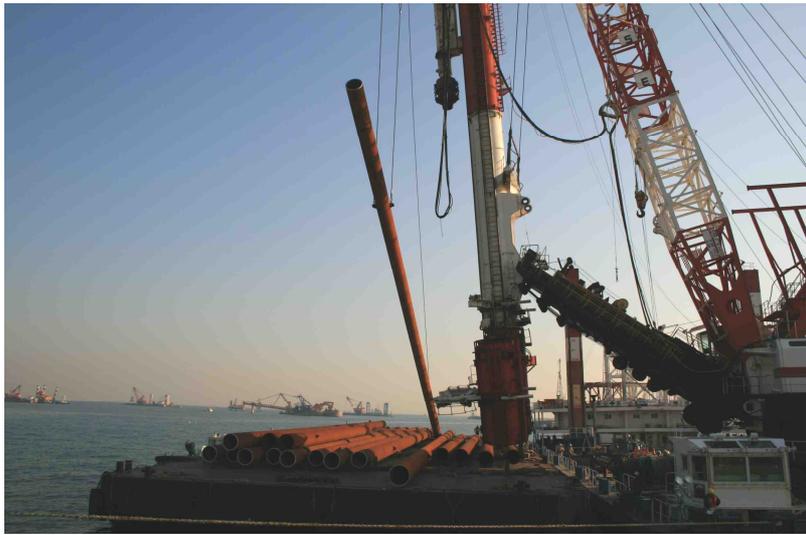
施工場所は、下図の通り。



鋼管杭を打設するための第18御在所という杭打船。最大高さ約80m。

船体にはイルカの絵が描かれています。

昼間は、航空機の離発着に支障にならないよう、A滑走路やC滑走路の制限表面（高さの制限）に抵触しないエリアでの工事になります。



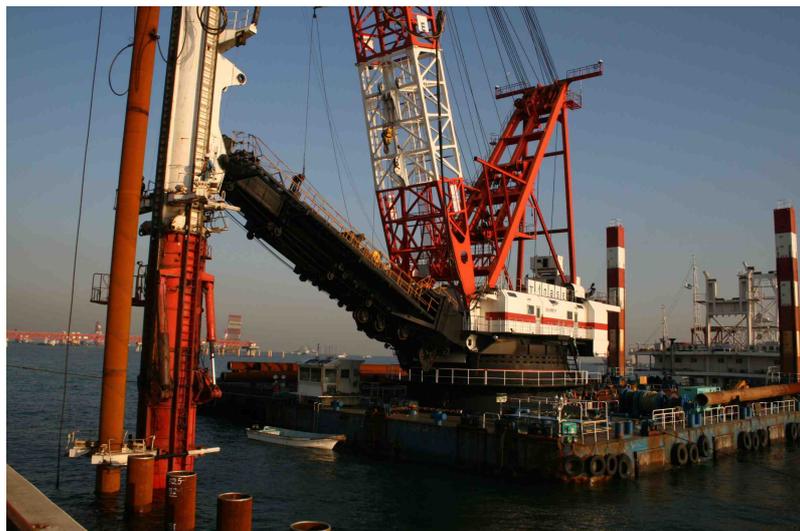
① 鋼管杭を載せている船（台船）から3本のワイヤーを使って鋼管杭を吊り上げます。



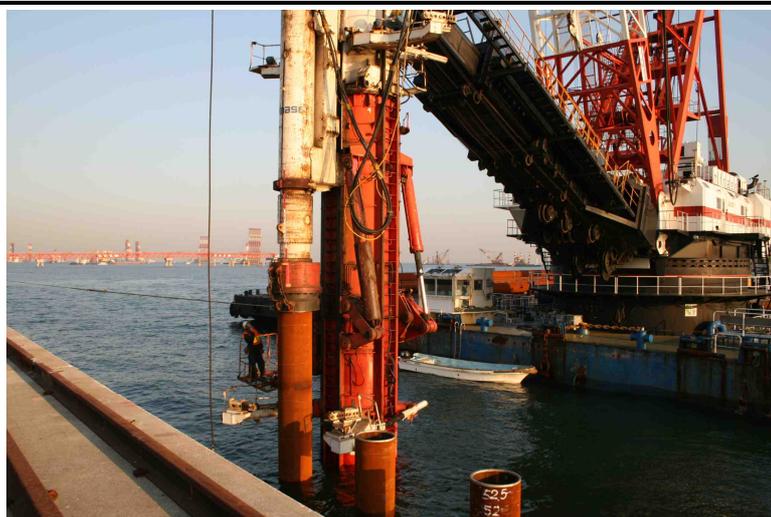
② 吊り上げた鋼管杭を杭打機に取り付けます。



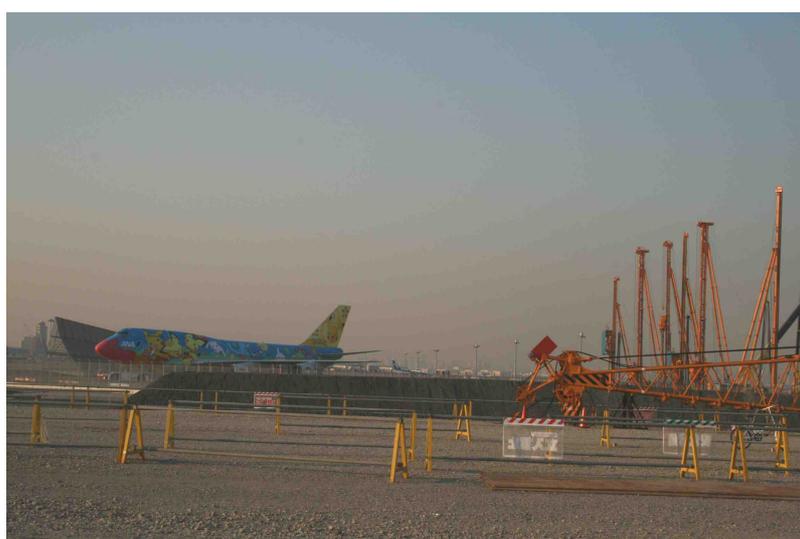
鋼管杭を打設する位置にズレがないか、傾いていないかを陸上側から測量機器でチェックします。



④杭打機により
「ゴ～ン、ゴ～ン、」
という音を立てなが
ら打ち込んでいきま
す。



所定の高さまで打設
したら終了です。



1日約800回の離発
着が繰り返される羽田
空港の運用に障害を与
えないよう、十分に注意
しながら工事を進めて
います。